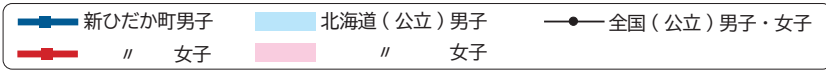
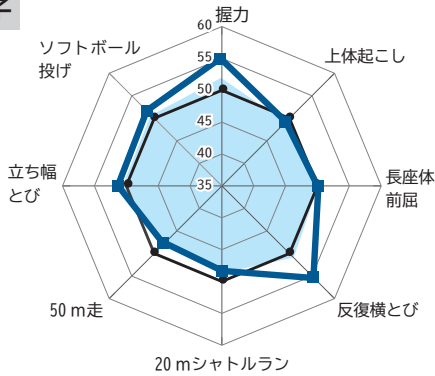


全国体力・運動能力、  
運動習慣等調査結果

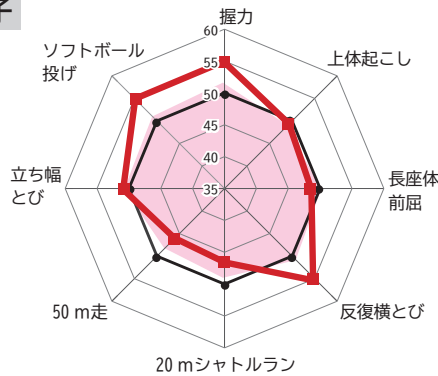


小学5年生（学校数：3校 児童数：140人）

男子



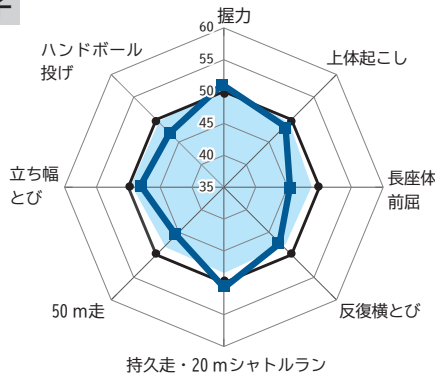
女子



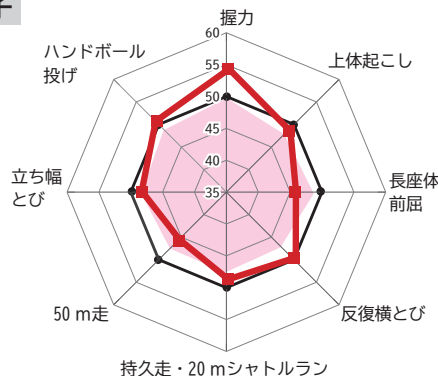
男子が8種目中5種目、女子は8種目中4種目で全国平均を上回りました。特に女子のソフトボール投げ、男女ともに握力と反復横とびが全国・全道平均を大きく上回りました。一方で男女ともに20mシャトルラン、50m走については全国平均を満たさない結果となりました。

中学2年生（学校数：3校 生徒数：145人）

男子



女子



男子の持久走・20mシャトルラン、女子のハンドボール投げ、男女ともに握力が全国・全道平均を上回りました。一方で男女ともに長座体前屈、50m走については全国平均に満たない結果となりました。

令和7年度「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」が全国の小学5年生と中学2年生を対象に行われ、町内各学校においても実技調査や運動習慣・生活習慣に関する質問紙調査を実施しました。



新ひだか町の体力向上策

- ◎全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果を基にした体力テストや体育、保健体育科の授業、体育的行事の改善
- ◎町独自の「体力向上サポーター派遣事業」による体育、保健体育科の指導方法の改善
- ◎体力向上に関する「1校1実践」の継続
- ◎「早寝・早起き・朝ごはん」運動、「アウトメディアチャレンジ」を継続し、望ましい生活リズムの確立と生活習慣の改善
- ◎スポーツ教室や大会などの運動機会の確保と参加促進
- ◎望ましい食生活および食習慣を身に付けさせるための食育の推進

【問合せ】教育委員会管理課 ☎ 49 - 0088

運動に対する意識

運動に対する意識については、「運動やスポーツをすることは好きですか」の問いに対し、小学生男女、中学生男子の約9割、中学生女子の約7割が「好き・やや好き」と肯定的な回答をしています。また、小・中学生ともに「体育の授業が楽しいですか」の問いに対し、肯定的に回答した児童・生徒は全体の8〜9割となり、各学校において、運動やスポーツを好きになる、楽しく思えるような授業の工夫や改善が行われて

生活習慣

朝食の摂取率は、小・中学生ともに約6〜7割となりました。朝食の摂取率は、小・中学生ともに約6〜7割となります。また、平日のテレビやゲーム、スマートフォンなどの使用時間について、3時間以上使用している割合は小・中学生ともに約5割となり、全国・全道平均と比べてその使用時間の長さに課題が見られ、朝食の摂取率と合わせて生活習慣の改善が必要となる結果となりました。

